

◎単元構想

毎日使う国道301号の秘密を探ろう⑥

(総合的な学習の時間)

昭和30・40年代の301号の写真を見よう

- ・長者平は田んぼしかない
- ・道路がアスファルトではない
- ・どこの地区か分からない

沿線の住宅
や店の変化

道幅の
変化

沿線の風景
の変化

通る人や乗
り物の変化

戦前の301
号の様子

交通量の
変化

写真に写っている場所に行ってみよう

家族や地区の人に聞いてみよう

副読本や「広報つくで」で調べよう

交通量の調査をしてみよう ※一人調べ

調べたことをまとめ、発表しよう

すごく道が良くなったね

車が通りやすくなったね

国道301号が良くなったことは作手にとってよかったのか?①

よかった

よくない

- ・作手的人是りやすくなって便利になった
- ・「手作り村」など人気が出てきた
- ・安全になった

- ・事故が増えた→(一人調べへ)

国道301号が良くなったのに人口や店が減ってしまったのはなぜか?

魅力がない

働く場が少ない

自動車が登場した

根拠を探そう④

工場が建つ

- ・作手村では働く場所を提供するため、工場を誘致した。
- ・301号が整備されると、さらに工場が増えた。
- ・自動車関連工場が3つある。

作手の住宅地開発

- ・1983年に村営川合住宅ができる。
- ・1994年にタイコヤシキの住宅造成完了。
- ・2002年長者平にて住宅分譲始まる。

301号
通りやすい道へ

林業のおとろえ

- ・昭和30年代にガスが使われ始め、木材が売れなくなった。
- ・1969年「みがき丸太」が始まる。
- ・昭和50年代には輸入材におされ始める。

店は中心部の国道沿いだけに

- ・和田にも五平餅の店があったが、5年前に閉店した。
- ・役場付近に商店が集中。
- ・Aコープは昭和47年に開店した。
- ・2001年手作り村ができた。

作手の農業

- ・米どころ作手
- ・「ミネアサヒ」
- ・自然薯やお茶
- ・最近ではトマトやいちごの栽培が盛ん

人口の減少

- ・昭和28年の5800人を境に減少が続いている。
- ・301号から遠い地区が激減。
- ・お年寄りが多い。

人々の暮らし

- ・1960年頃からテレビが増えてきた。
- ・1963年頃から自動車が増えてきた。

日本全体ではどうなっていたのか③

- ・東京などの都市部で人口増加したが、地方では人口減少が目立つ
- ・仕事を求め、若者が地方を出て行った
- ・工業化→公害問題が起こる

日本国憲法制定・講和会議で国際復帰
高度経済成長期

- ・家電製品の普及によって暮らしが便利になる
- ・1964年東京オリンピック開催、新幹線開通
- ・1969年東名高速道路の開通

わたしたちの作手 受けつぐべき事 乗り越えるべき事は何だろう②

調べたことや考えたことを学習発表会の劇にしよう⑧

(総合的な学習の時間)